

東日本大震災の発生から 4 年、東北地方の今を学ぶ！

通建連合北陸

5 月 9 日（土）、情報労連北陸ブロック協議会主催の「東日本大震災の現状を学ぶ」学習会が、石川県地場産業新興センター・本館（金沢市）で開催された。冒頭、主催者あいさつに立った情報労連北陸ブロック協議会の湊口議長は、日頃の情報労連運動に対する協力に感謝を表しつつ、東日本大震災の復興・再生に向けた取り組みと 2007 年 3 月に発生した能登半島沖地震の経験を振り返りながら、「東日本大震災が風化してきている」と開催への思いについて述べた。その後学習会は、情報労連東北ブロックの加島事務局長を講師に向かえ、震災直後の状況、今日までの取り組み、今後の課題等について学び、東北地方の復興・再生に向けた取り組みの重要性と風化防止に向け取り組みを継続させる意識を高め合い閉会した。（参加者 59 名／通建連合北陸 11 名）

通建連合北陸としては、北陸における過去の自然災害の歴史、近年の全国各地で起き続けている自然災害の発生状況等を踏まえ、「決して他人事にはいけない」と思っています。この様なことから、東北地方を中心とする震災復興・再生に向けた取り組みには積極的に参加するとともに、組織内の風化防止や防災意識を高めることについて発信していくこととします。



湊口議長

情報労連北陸



松井金沢市議

金沢市議会



加島事務局長

情報労連東北



小林議長

情報労連福井

以上